

所管区域の概要

泉南地域は大阪湾と和泉葛城山系に囲まれた地域で、地域内に関西国際空港を擁し、空港との近接性や良好な交通アクセスなどを背景に、りんくうタウンなどには大規模な商業施設や物流関連施設などが集積しています。

また、ブナの原生林などの豊かな自然が残されており、熊野街道や紀州街道などの旧街道に沿って歴史的な街並みが保全されているほか、各地でだんじりなどの祭りが開催され、多くの観光客が訪れます。

一方で、長い海岸線を有しており、近い将来に高い確率で発生するとされる南海トラフ地震の影響を受けやすい地域となっています。



所管区域	5市3町（大阪府下市町村数43 （岸和田市・貝塚市・泉佐野市・泉南市・阪南市・熊取町・田尻町・岬町）
人口・面積	人口：約 53万人（大阪府全体の約 6%） 面積：約 330 km ² （大阪府全体の約 17%）
所管道路	35路線（約 276km）（大阪府全体の約 18%） 一般国道【2路線】、主要地方道【9路線】、一般府道【24路線】
所管河川	22河川（約 114km）（大阪府全体の約 15%）
所管公園	5公園（大阪府全体19公園） （蜻蛉池公園、二色の浜公園、りんくう公園、せんなん里海公園、泉佐野丘陵緑地）

組織の概要



事務所職員数の推移（単位：人）

	R5年度	R6年度	R7年度
事務	35	36	38
技術	80	81	81
合計	115	117	119

事務所予算の推移（単位：億円）

	R5年度	R6年度	R7年度
当初予算	84	82	91



主な取組み

令和3年度から10年を対象にした本府の都市インフラ政策の総合指針として策定した、「大阪府都市整備中期計画」に基づき、「大阪・関西のさらなる成長・活力の実現」、「防災・減災、安全・安心の強化」、「都市魅力の向上と住みよい環境づくり」に向けて取組みを進めます。

1. 大阪・関西のさらなる成長に必要なインフラの強化

交通インフラの充実・強化や都市拠点の形成など様々なネットワークを重視した都市づくりをさらに進めるなど、必要な都市基盤整備を推進し、世界で存在感を発揮する東西二極の一極として、日本の未来を支え、けん引する成長エンジンとなる副首都・大阪として発展をめざします。



道路整備事業

道路改良事業

2. 防災・減災、安全・安心の強化

近年の気候変動による自然災害等を踏まえ、「人命を守る」ことを最優先に、「逃げる」「防ぐ」「防ぐ」施策を組み合わせた治水・土砂災害対策等ハード・ソフト両面での取組を強化し、被害を最小化することをめざします。

交通安全対策やユニバーサルデザイン化の推進など、誰もが安全・安心に移動できる都市の実現をめざします。



河川改修事業

交通安全対策事業

3. 都市魅力の向上と住みよい環境づくり

多様なニーズに応えるため、制度・しくみの見直し等によりインフラを有効活用することや関係者との連携により、都市魅力の向上に取り組み、またみどりの創出や都市環境の向上などに取り組み、地域資源を活かした質の高い、住みよい都市の実現をめざします。



公園整備事業

公園を活用した地域の活性化

4. 戦略的な維持管理

不可視部分を含めた点検の充実や施設に現れる変状の兆候等を基にした的確な診断を行うなど、最適なタイミングで補修する予防保全型の維持管理を実施するとともに、日常的維持管理を着実に実践し、インフラ施設を良好な状態に保ちます。

市町村のニーズに応じた公共施設の維持管理、再編整備等の技術支援体制の充実を図ります。



橋梁補修事業

日常維持管理(段差補修)

1. 大阪・関西のさらなる成長に必要なインフラの強化

【大阪岸和田南海線】

・国道170号と国道481号を結ぶ広域的な交通ネットワーク機能の強化により、周辺道路の慢性的な交通渋滞を緩和するため、熊取町域において道路整備事業を進めています。

【R7年度実施予定】

- ・1期区間（府道泉佐野打田線～泉佐野市界）電線共同溝整備工事、用地買収等
- ・2期区間（R170～府道泉佐野打田線）橋梁下部工工事、用地買収等



【泉州山手線】

・国道26号と国道170号の中間に位置する泉北・泉南地域を結ぶ幹線道路であり、地元市の沿線まちづくりの進捗等に合わせ、区間を定めて事業を進めています。

【R7年度実施予定】

- ・各越区工区（(都)貝塚中央線付近～府道水間和泉橋本停車場線）橋梁下部工工事、用地買収等
- ・山道工区（(都)磯之上山道線～(都)岸和田中央線）道路詳細設計、橋梁詳細設計等



【泉佐野岩出線】

・暫定2車線区間における交通安全対策に取り組みます。

【R7年度実施予定】

- ・ガードレール等による上下線分離構造への線形改良や路面表示などの安全対策に関する工事を推進（道路改良工事(R5)、道路改良工事(R6)、(R6その2)、新前川橋橋梁上部工事）、令和7年度未完成を目標



【砂川櫻井線】

・泉南市事業の都市計画道路砂川櫻井線が整備されることにより、府道大阪和泉泉南線の新家踏切渋滞対策にも寄与することから、府が整備費用の一部を負担し用地交渉・工事を受託。併せて新道を府道とし、旧道は市へ引き継ぐことで市と合意し現在事業を進めています。

【R7年度実施予定】

- ・新家川渡河橋下部工事（R4から継続）
- ・新家川渡河橋上部工事、道路改良工事(R6から継続)
- ・道路改良工事(2件)の発注
- ・用地買収 等



2. 防災・減災、安全・安心の強化

【防災・減災、国土強靱化のための災害対策】

・治水・土砂災害対策や道路防災等の施設整備を引き続き進めてまいります。

【R7年度実施予定】

- ・河川改修事業：牛滝川、住吉川（調節池）、大川、新家川など
- ・土砂災害対策事業：近木川水系近木川第1支渠、櫻井川水系下大木渠、男里川水系金熊寺川第5支渠 など
- ・道路防災事業：国道170号（岸和田市内畑町）測量設計、木ノ本岬線（泉南郡岬町多奈川谷川）など



【交通安全・ユニバーサルデザイン等の推進】

・通学路等の交通安全対策について、各市町の教育委員会、警察、道路管理者等による合同点検で抽出された課題を基に対策メニューの検討を行い、順次対策を実施しています。

【R7年度実施予定】

- ・大阪和泉泉南線虎橋側道橋 等
- ・和歌山貝塚線（二色の浜駅周辺）歩道整備工事、用地買収 等
- ・鳥取吉見泉佐野線（免砥橋）阪南市等と共に交通安全対策を検討



【自転車通行空間の整備】

・歩行者、自転車及び自動車が適切に分離された自転車通行空間の整備を進めます。

【R7年度実施予定】

- ・春木岸和田線（岸和田市尾生地内外）自転車通行空間整備工事
- ・岬加太港線（泉南郡岬町多奈川小島地内外）矢羽根等設置工事



【地域防災】

・府民の皆さまの防災意識を高めるように、自治会の防災訓練や地域の防災イベントなどに市町と連携して支援を行います。



3. 都市魅力の向上と住みよい環境づくり

【近木川汽水ワンドの利活用推進】

・干潟の形成が進むと共に多くの希少種の生息が確認されるようになり、貝塚市や大学と連携して生物観察会や環境調査研究の場として利活用してきました。

引き続き各団体に参画を呼び掛けるなど、より一層の利活用の推進に取り組みます。



【公園の魅力向上を通じた地域の活性化】

・4公園(二色の浜、蜻蛉池、りんくう、せんなん里海)においては、引き続き指定管理者と連携し、公園の賑わいづくりと府民サービス向上に努めます。

・泉佐野丘陵緑地の地域・企業との連携を継続し、みんなで関わり続ける「新たな公園づくり」を泉佐野市に承継します。



【P-PFI制度を活用した公園整備】

・りんくう公園中地区において、公募により選定された民間の整備運営事業者と連携して公園づくりを進めます。



【アドプログラム】

・府民の皆さんに公共スペースの清掃などの美化活動を通じて、地域に愛着を持っていただき、良好な施設の維持管理につなげています。

・道路照明灯の維持管理に地元企業等の協賛をいただくことにより、維持管理費用の軽減につながっています。



4. 戦略的な維持管理

【安全と安心のための維持管理】

・管理する道路や河川、公園において、施設の不具合や損傷を早期に発見するため、パトロール・点検を着実に実施します。

・発見した不具合や損傷箇所は、「現場の知恵」から生まれたアイデアを積極的に活用し、迅速かつきめ細やかな対応に努めます。



【点検の着実な実施と計画的な保全】

・点検により要対策と判定された箇所について、重要度を加味し補修等を実施します。

・公園施設の長寿命化計画に沿って、施設の改修等を行います。

【R7年度実施予定】

- ・橋りょう補修：麻生中跨線橋、自然田高架橋（南行き）、江永橋側道橋、志野谷橋、昭南橋 など
- ・河川護岸補修等：櫻井川、松尾川、春木川、佐野川、金熊寺川など
- ・堆積土砂撤去：佐野川、山中川、金熊寺川など
- ・公園施設：蜻蛉池公園管理事務所改築、せんなん里海公園潮騒ピラー改修 など



【資産活用による維持管理財源の確保】

・公募による事業予定地の貸付及び道路の高架下の占用、並びに不要となった用地を処分することで、得られた収入を維持管理費に充てるなど、利活用されていない資産を有効に活用・処分し、独自財源の確保に努めます。

【R7年度実施予定】

- 【占用】 国道481号高架下
- 【用地処分】 吉川川敷川敷、旧国道170号廃道予定地、元都市計画道路など



【維持管理連携プラットフォーム】

・管内市町の維持管理に関する技術力向上、人材育成の取り組みとして、講習会や現場研修を開催します。

・岸和田土木事務所のメンテナスマネジメント委員会（MM委員会）への市町担当者の参加や、市町の維持管理に関する取り組み事例を相互に紹介すること等により情報共有を図ります。

